

Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2018年 5月 3日公開
イスラエルによるシリア攻撃、ネタニヤフ首相がイランの核計画を暴露、イランの怪しい動き
(日本時間 2018年 5月 14日 午前2時)

.....
では、まずお祈りして、それからアップデートを始めましょう。

お父様、感謝します。あなたは、あなたの子どもたちが、あなたの御言葉だけでなく、あなたの御言葉から世界中で起こっている事も理解出来るようにしてくださいました。

お父様。あなたは「わたしは、終わりの事を初めから告げ、まだなされていない事を昔から告げる」言われました。

お父様、すでに起こった事、まだ起こっていない事、これから起こることを、私たちが理解できるように助けてください。

お父様。感謝します。あなたは、あなたの子どもたちが今の時と季節を理解していることを願われます。それは、あなたが私たちを愛しておられ、私たちが闇の中に生きることのないためです。また、私たちが備えるだけでなく、私たちが城壁の見張り人として周囲の人たちを備えさせるためです。ですから今夜、あなたが栄光と誉れをお受けください。そして引き続き、聖霊を通して私たちに慰めてください。

そしてお父様。今日、ここで語られることのどれ一つとして、センセーショナルになったり、偽善、作り話に陥ることのないように、私たちがあなたの御言葉と真実を反映し、現在起こっている真実を、正確に伝える事ができるようにと祈ります。

イスラエルの地より、あなたに感謝し、あなたを祝福します。

このお祈りを、他にはない、イエスの御名によってお捧げします。

アーメン。

アーメン！

皆さん、テルアビブの北部ヘルズリヤより、こんばんは。今日は、土曜日の夜以降、今日までに実際に起こった事を理解していきます。この事は中東だけでなく、世界中を揺さぶりました。それからまた、イランとシリアの両方、それからヨーロッパで実際に起こっている事についても理解していきます。そして、それらは、聖書の中に書かれていることを、どのように反映しているのかについてもお話します。

まずはじめにお伝えしたいのは、まるで、イスラエルとイランとの間で今にも戦争が起こるかのよう、他の人に恐怖を与えている人が多くいます。またそれは、政治家たちの一部、アナリストたちの一部、そしてクリスチャンを代表する人たちの中にもいる、と言っておきます。そこで非常に明確にしておきたいのは、イランとイスラエル間の争いは、何も目新しい事ではありません。1979年2月1日にホメイニ（書記注：1902～1989イランにおけるシーア派12イマーム派の精神的指導者であり、政治家、法学者。イラン革命を指導し、その後新生イラン・イスラム共和国の元首である最高指導者として、同国を精神面から指導した。）が就任して以来、イスラエルとイランは友好国ではありません。



ホメイニ師

そしてイランは、常に何とかしてイスラエル国を終わらせようと、直接的でなければ間接的に試みて来ました。レバノン南部に、自分たちの代理としてヒズボラを生み出したのもイラン、ヒズボラに資金提供し、武器や資金を与えているのもイランです。それから、1990年代のアルゼンチンのイスラエル大使館のテロ（書記注：1992年3月17日 死者29人+自爆テロ犯1人、負傷者242人 大使館の他近くにあったカトリック教会や学校が破壊された。ヒズボラが犯行声明）など、世界中でいくつもの、ユダヤ人やイスラエル人を狙ったテロを操作しているのもイランです。ですから、私たちが語っているのは新しいテーマでも手法でもないのです。次に、非常に明確にしておきたいのは、イスラエルはイランを攻撃していません。イランは、イスラエルから1500 km以上離れています。



中東の地図

我々はイランまで飛行していませんし、爆弾投下もしていないし、イラン国内の武器も破壊していません。我々には、イランを滅ぼすことに何のかわりもなければ、そんな事に何の興味もありません。私たちに関心があるのは、彼らが我々を滅ぼさないようにすること、それだけです。

もう一つ、皆さんに理解しておいてほしいのは、イランに関して言えば、イスラエルは二つの異なる事に直面しています。

- ① 一つは存在の脅かしです。我々はそれを「核オプション」（最終兵器）と呼び、イラン本土からもたらされるものです。我々は数日前にそれを暴露しました。それに関しては、後ほどお話しします。
- ② もう一つは、イスラエルにもっと近い場所、シリアから来る現行の脅威で、イラン人によって行われています。イラン人司令官たちが現地において、パキスタン、アフガニスタン、イラク、その他の場所からシーア派を採用し、そこで民兵隊を作りだしています。彼らを武装し、イランよりもはるかにイスラエルに近

い所で軍事的選択を作り出しているのです。

イランはシリア国内で、三つの異なるレベルで動いています。

- ① ミサイルのある軍事基地の創設
- ② ドローンの飛行大隊を創設し、いつでもイスラエルに送り込み、爆弾や偵察、何でも彼らの任務を行います。
- ③ 防空システムと呼ばれるものを持ち込み、彼らがあちらに持っているものを防衛しています。

これらが、イスラエルがシリア国内に抱えている、三つの課題です。

当然、大きな課題は、イラン国内にあるイラン政権の真の意図を暴露することです。このように私たちは、異なる二つのレベルで動いています。

- ① イランの核運動を暴露するレベル
- ② シリア国内で地位を確立しようとしているイランの動きを破壊するレベル。これは物理的な「破壊」です。国境の向こう側で、我々を破壊するためにこちらに向けられているものは何であれ、破壊する権利がイスラエルにはあります。

繰り返しますが、イスラエルはイランとのいかなる軍事的対立にも興味はありません。言っておきますが、イランがただ、我々から離れさえすれば、我々はこんな話は一切しません。問題は、イラン国内には、「自分たちの使命、宗教的ミッションはイスラエル国家を破壊する事だ」と信じている政権があるのです。彼らによれば、「イスラエル国家はイスラムの国土に存在する、ユダヤ主義の実体」だそうです。ですから、皆さん理解しておいてください。イスラエルとイランの間の対立のレベルは、一般常識の範疇ではなく、政治的野望、経済利益とも一切関係ありません。これは、イスラエルの破滅を命じている、宗教の霊です。

次に、私たちは解釈の仕方を非常に慎重にしなければなりません。聖書は、イスラエルと、イランそのものとの間に起こる、特定の戦争については告げていません。それは、1948年の独立戦争とも、将来に起こるエゼキエル戦争とも異なります。また、ある人たちはエレミヤ書49章に書かれている「エラム」を指摘しますが、エラムは今日のイランのほんの小さな部分で、それはイランの南西部、将来のことには一切関わりがありません。エラム人はクロスによって、また後にはネブカデネザルによって滅ぼされていて、もう、存在していません。だから預言者エゼキエルは、将来のエラム人について語っていないのです。彼は、将来のペルシャについて語っています。イランはホメイニが就任するまで、自分たちのことをペルシャ人と呼んでいて、——事実、今でもイラン人の多くは自分のことをペルシャ人だと考えていますし、——彼らの言語はペルシャ語です。ですから、エゼキエルの預言の中で、イランと言えば将来の事、エレミヤの預言でエラムというのは過去の事です。皆さん、理解しておいてください。例えば詩篇83篇は、イスラエルに対する戦争について書かれていますが、そこにイランは出て来ません。そこに書かれているのはヨルダン、エジプト、レバノン、シリアといったイスラエル周辺の国々です。そして1948年、その戦争は確かに起こりました。それが起きた1948年、彼らは生まれたばかりのイスラエル国家を滅ぼそうとしたのです。彼らは、イスラエルの名の存在が気に入らず、まさに、詩篇の筆者が書いている通りでした。といっても私は、次の時にイランがイスラエルに攻めてこない、と言っているわけではありません。私は、イランは攻めて来ると思っています。しかし彼らは単独でイスラエルに攻めて来るわけではありません。私が次にお伝えするのは、それです。

イランは孤立しています。

イランは屈辱を受けました。

イランは現在、イスラエルと国際諜報機関全体によって晒され、暴かれたのです。



イランの核計画の全貌をリークしたネタニヤフ首相

次に、とても面白い話で、ここ数ヶ月の間に起こった事です。まず皆さん、理解しておいてください。6 大国によって調印された核協議は、恥ずべき協議です。それはいくつかの大きな穴を残し、その内の一つに、全ての核施設をそのまま残しておきました。その理由は、彼らには核兵器への野望は一切ない、とイランが報告したからです。彼らはいつも、周辺諸国に言ってきました。

「イランは、燃料資源目的でのみ核保有し、科学的発達を展開している。」

これが、イラン人たちが世界に言ってきたことです。

だから世界は、

「分かった。それなら、それらの施設を維持しても良い」

と言いました。

イランは、爆弾にまでもうすぐ達することを世界に言いませんでしたが、彼らの核への野望は兵器のためであり、それ以外の何ものでもありません。

では、イランは、真の意図を誰に告げたのでしょうか？

彼らは、彼ら自身に言ったのです。

彼らは、それを記録しました。

イスラエルは、2016年2月にテヘラン郊外にある倉庫に気付いたのです。そこには、12の巨大な地下金庫があって、その中にイランは20万以上の記録書と、図表やグラフが入った膨大な量のDVDを保管していました。それらは全て、彼らの核兵器への野望でした。それらがそれを物語っていて、イラン政権がそれらに携わっていたことを証明しています。さらに、それらは彼らがいかにして世を欺いていたかも告げています。核兵器計画から人々を連れ出して、彼らを他の化学施設へ移動させました。もちろん、これは一つの大きな欺きです。だからイランは、一度も世にそれを告げていませんが、自分たちの周りの人間にはそれを伝えていました。100人未満の秘密のグループ、それだけです。イスラエルは何らかの形でその位置を掴み、今年1月の下旬、イスラエルは作戦を開始しました。それには、世界中の何百人という人たちと、イラン国内で数十人が関わりました。イスラエルは、その倉庫に侵入する事に成功しました。と、こう言うと、

「厳重に警備されているはずの倉庫に、どうすれば侵入できるんだ!？」

と思う人もいるでしょう。説明しましょう。

何かを隠す時には、二つの選択肢があります。

- ① 厳重に警備して、それによってそこに機密が保管されていることを、周りに暴露する。
- ② もしくは、まるでそこには何も大事なものなどないかのように見せかけ、軍事基地でも何でも無い、小さ

な場所に保管する。

イランは、世界を欺くために、この全てを非常に大きな地下金庫に入れて、それを外観は全く何の変哲もない倉庫に置いたのです。だから誰も、そんな中に重要な物が入っているとは、考えもしませんでした。そこで何が起きたかという、イスラエルは内部に助け手と情報を確保していただけでなく、それが何であり、それらがどこにあるのかという機密を知る、この100人のうちの一人が、イスラエルに情報を提供していたようです。私たちはそこへ行けただけでなく、我々は2台の大きなトラックに、この12地下金庫を積み込みました。このトラックが建物を立ち去る時、別々の2方向に分かれて進み、そしてもちろん、エージェントは建物にもう一度鍵をかけました。翌朝、イラン人は、誰かが侵入したとは疑いもせずに行き、それらの金庫がなくなっていることに気付いた時、イラン国中で追跡が始まりました。そこでまた、新たな作戦が始まりました。今度は情報の密輸ではなく、イランからの逃亡作戦です。皆さん、これらのトラックは、何とかアゼルバイジャンとの国境までたどり着き、そこで別のトラックに荷物を積み替え、海路、別の国へそれを運ぶため、ある所まで運ばれました。そしてそこから空路でイスラエルに運ばれたのです。それらは地上、海路、空路を経て、やがて2月の第1週にイスラエルに到着しました。皆さん、ここで記憶がよみがえって来るでしょう。2月10日、イランは爆破物を積んだドローンでイスラエルに侵入、攻撃を試みました。彼らは、イスラエルが行なった事に対し、激怒していたのです。我々がイランの最も聖なる秘密の場所に侵入できたために、彼らは非常に憤っていたのです。だから彼らは、何とかして我々に警告を与え、罰しようとしたのです。イスラエルはそのドローンを撃墜し、続けてイスラエルは、シリア国内の彼らの防空システムの3分の1を破壊して、あちらですべき事を行いました。皆さん、あれはほんの始まりでした。今年3月、ネタニヤフ首相は、ドナルド・トランプ大統領に会うため、ワシントンDCに飛びました。ネタニヤフ首相の、次の言葉が紹介されました。

「この、トランプ大統領との会談が、イスラエル国家の安全のために、どれほど重要であったかを、人々が理解する日が来る。」

ネタニヤフ首相の真意は、誰にも理解出来ませんでした。その直前に、彼がトランプ大統領に暴露した内容は、ネタニヤフ首相しか知りませんでしたから。彼は、トランプ大統領に伝えたのです。

「諜報機関の全員が得たいと思っている、イランに関する重要な情報を我々は手に入れた。」

ここで明確にしておきますと、我々は、イランが全世界に対して嘘をついたことを証明しただけでなく、彼らは常に、少なくとも5つの異なる核爆弾を維持しようとしていたこと、それから、彼らが行なっていた弾頭ミサイル実験は全て、その核兵器の準備のためだったことも証明しました。さらに彼らは科学活動を装って、継続してそれを行っていたことも、我々は明らかにしました。

皆さん、数日前の記者会見で、ネタニヤフ首相が暴露したことは、それ自体が動かぬ証拠だったのではなく、動かぬ証拠は、私たちに語ることの出来ないもの、私たちが報告できないものです。私を信じてください。彼が、あの暴露によって行なった事は、アメリカ政権と全面的に協力し連携して行なったのか？と聞かれるなら、その理由は実に簡単です。イスラエルは、国際社会がトランプ大統領に「あの核協議に留まるように」と圧力をかける前に、イランを晒す必要があったのです。核協議は、現在と同じくらい、当ても酷いものでしたが、私たちが現在知っていることを、当時の私たちは知りませんでした。今日の私たちは、彼らの欺きの深さ広さを知っていて、当時の私たちが想像していたことを、今日の私たちは理解しています。

皆さん、理解しておいてください。

イランで起こった事は物凄い事で、代理人たちは何とか脱出することが出来ました。そして、10万以上ある記録は、イスラエルの手中にあります。それらが本物であることは、アメリカによっても証明されています。2015年に調印されたこの合意は、基本的にはオバマ政権と、他の6ヶ国によって調印されました。基本的にそれは、イランのウラン濃縮と、イランが持っていた中心材料を制限、その見返りとしてイランは、石油や銀行業の国際貿易など多数の制裁を解除され、1500億ドルという贈り物を受け取りました。ところで、そのうちの10億以上を現金で手渡されたのですよ。

次の日程は5月12日。この日、トランプ大統領は決断を下します。これら気休めの制裁を続けるのか、それともこれを止めるのか？止めるとすれば、このとんでもない協議から撤退することで止めるのか？皆さん、理解しておいてください。もしアメリカがこの協議から撤退するなら、アメリカは全世界に、基本的にはこのように言うことになります。

「もしあなたがたが引き続きイランと取引を行うなら、あなたがたは制裁に違反することになる。」

非常に多くの国が、イランとの貿易を止めるでしょう。

そしてそれが原因で、恐らくイランは計画を更新することになるでしょう。

ネタニヤフ首相が発見したのは、イランには全て整っていた、ということです。

そして、彼らが計画を更新するということは、数週間のうちに彼らは爆弾を所有する、ということの意味します。

これを皆さんは理解しておかなければなりません。

次に、4月17日。4月17日、私のところに、世界中の人から次のような報告がありました。

「イスラエルがまたシリアを攻撃した、と聞きました！」

シリア国内の防空システムが、何らかの航空機が飛来してきているのを探知し、その航空機を撃墜するために、何発かのロケットを発射した、とシリアが発表しました。

「敵のミサイルは、全て撃墜した」

とシリアは言いました。

それから二時間後、彼らの防空システムが電子戦争によって引き金を引いたこと、イスラエルの飛行機もミサイルも、その地域になかったことを、シリアは認めました。彼らがよく知らなかったのは、4月17日、イスラエルが彼らのレーダーを無断で書き換え、彼らのシステムの引き金を引きました。私たちが別の事に備えている間に、一つの事を始末するためです。

そして4月29日。イスラエルはF-15を何機も送りました。これもまた異例の事で、はるばるヨルダン北部の上空を飛行して行き、現場で、純粋なイランの標的を破壊しました。標的はそれまでの10~15日の間監視していたもので、貨物機イリュージョンが遥かテヘランから、ハマー空軍基地や周辺の他の空軍基地まで飛行しているのを、我々は目撃しました。イランはそこで民兵を精巧武器や中距離~長距離ミサイルで武装させ、それを使ってT-4空軍基地を攻撃したことに對して、イスラエルに罰を与えるつもりでした。我々がドローンの飛行大隊を攻撃した場所です。そこでイスラエルは何をしているかというと、先ほども言いました通り、三つの層で戦っています。私たちは彼らが作り出すドローンの飛行大隊を破壊しています。それらは、自爆ドローンとなるのです。我々は彼らのロケットを破壊しています。それから我々は、彼らの防空システムを破壊しています。それが、私たちがイランに対して行なった事です。

次に「イスラエルはイランと戦争しようと考えているのか？」と聞かれますが、いいえ。私たちは、戦争はしたくありません。

我々は、戦争には全く興味がありません。

現在、どこにも戦車は動かしていませんし、私たちは戦争には備えていません。

我々は、イランがシリアに地位を確立するためのものを全て破壊する準備をしています。それは、私たちは一年前にも言いましたし、5~6か月前にも、1か月前にもそう言いました。そして、私たちは、言った事は実行します。もし彼らが、ロシアのS-300といった先端のシステムを置くことを考えるなら、もしそれをするので、彼らがイスラエルを止められると考えるなら、彼らは間違いです。我々が再び攻撃する可能性はかなり高いです。今夜にも起こるかも知れませんが、明日の夜かも知れません。敵が自らの地位を確立し、攻撃に突進しているなら、我々はただ座ってそれを見ているなどということはありません。皆さん、理解しておいてください。イスラエルは戦争をしたくて、戦争の備えをしているのではありません。我々は、国境の向こう側で彼らが地位を確立するのを止めようとしているのです。

次に、聖書的に説明しましょう。聖書的に——もう一度言います。

聖書的に、イスラエルがイランだけと戦う、とは私は予見していません。

現在のイランは、非常に弱く、敗北して屈辱を受けた国です。

誰かさんが、彼らの最も聖なる場所を犯し、そこにあった膨大な数の最高機密計画の記録を盗んだのです。誰かさんが彼らの当局トップと提携したのに、彼らには誰が漏洩したのか分からないのです。誰かさんが、シリア国内の彼らの働きをほぼ毎週のように破壊しているのです。

そしてイランは問題を抱えています。

トランプ大統領に協議撤退の理由を与えないために、5月12日までは、彼らは大人しくしていなければなりません。この日曜日まで、彼らは大人しくしていなければなりません。レバノンで選挙があり、ヒズボラが何らかの形でイスラエルと戦争になっては困るのです。彼らは、ヒズボラには何が何でも、レバノンの選挙で勝ってもらわなければなりません。だから、日曜の夜、もしくは月曜の朝までは、そして確実に5月12日までは、イランが何らかの形でイスラエルを攻撃するような動きはないでしょう。

ただ、この48時間の間に、私たちが目にしたのは、ネタニヤフ首相が暴露した、フォルドゥの濃縮施設での、イランの怪しげな動きです。違う言い方をしますと、5か月前からこれまでで、あれほどの動きを見たことがありません。私たちは、多くのバスや私用車を目撃するようになりました。それから、彼らがウラン濃縮を行っている山の下へ続くトンネルのゲートが、今開いているのを見えています。イランは今現在、発見されるのを恐れている何かを、抹消しようとしています。

ネタニヤフ首相は、すでにアメリカに伝えていることを、これからヨーロッパの人たちにも伝えます。それは、イランの計画は過去のものではなく、現在も進行中だからです。皆さんがご存知かどうか分かりませんが、イランとの合意では、検査員は検査の一週間前にそのことを伝えなければなりません。イランは、フォルドゥ濃縮施設に抜き打ち検査が入るかも知れない、とネタニヤフ首相が言った事を恐れているのです。だからイランは、全力で走って、現在の違法濃縮のすべての証拠を抹消しようとしているのです。ですから、検査員は検査

の度に、イランに欺かれて来たのです。彼らは、イランが完全に法令順守していると思っていました。しかし彼らが知らなかったのは、彼らが後ろを向いた瞬間に、イランが彼らを欺き、やりたい放題していたことです。

次に、それ以外にも別の場所で非常に興味深い事が起こっています。皆さん、理解しておいてください。ヨーロッパでは、ネタニヤフ首相の演説を真剣に受け止めていません。何故なのか？ドイツ、イタリア、イギリス、フランス、その他の国は現在、イランと関わって膨大なお金を得る事にしか興味がありません。彼らには、イスラエルの安全や安定など、どうでも良いのです。彼らの目にあるのは、何十億ドルというお金だけ。

さらにもう一つ言うと、ロシアは非常に心配しています。ロシアは、イランが石油貿易で得る、何十億ドルという資金と引き換えに、イランに武器を与えたいのです。そして現在起こっている事を見て、今ロシアは非常に憤っています。ところで、彼らは今、世界を怖がらせようとし始めています。

「トランプが協議から撤退するなら、戦争が起こるだろう！」

彼らは、トランプの北朝鮮に対して行動した時と同じことを言っています。

「戦争が起こる！」というのは、世界を恐れさせるための彼らの手口です。そして、どうなったでしょう？北朝鮮では、何が起こりましたか？

北朝鮮の場合は、彼らのペテンを終わらせるためには、トランプがめっちゃくちゃし兼ねないこと、トランプがどれほど本気であるかを、あちら側が悟った時に、彼らは、駆け引きを止める決断をしたのです。

私が個人的に、心から信じているのは

「核協議を修正するか、否定する」

修正するとは、どういう事か？

そこに、あらゆる弾道ミサイル実験の禁止を加え、さらに、すべての核施設への抜き打ち検査を加える。それに、「イランの武器製造のための核計画を暴露する」を加え、さらにその他、もっと加える。

最も重要な事は、イラン国外でのイランの活動を一切禁止することです。

イエメン、イラク、レバノン、シリアでのペテンを止めろ！

お前たちが、お前たちの言動で中東全体を不安定にしているのだ！

イランがこれに同意すると思いますか？

私には分かりません。しかし私が心から信じているのは、イランが未だかつてなかったほどにロシア、トルコと必要としていることです。

イランは助けが必要で、イランは現在、国際社会に友が必要なのです。そしてホワイトハウスが、その友情も資金も提供してくれない事を、イランは理解しています。

皆さん、私はイランが単独でイスラエルを攻めて来るとは思いません。彼らは、以前行なったように、世界中のユダヤ人を標的に爆撃したりはするかもしれませんが、しかし、イランとの軍事的対立で、次に私たちが目にする時は、もっと大きな戦争の一員としてです。聖書のエゼキエル書に書かれている通りです。聖書のどこにも、イランそのものが今、イスラエルを単独で攻撃することは書かれていませんから。

繰り返しますが、エレミヤ書 49 章のエラムはイラン全体ではなく、ほんの小さな一部分で、それはもう消滅しています。もう、破滅され、なくなっているのです。クロスとネブカデネザルに滅ぼされたのです。だから、

もうありません。私が心底信じているのは、次に私たちがイランについて耳にするのは、エゼキエルが告げているペルシャで、私たちがあちらで目にしている、ずっと大きな連合国の一員です。

最後に、皆さんにお伝えしたいのは、現在ヨーロッパで起こっている事で、これは皆さんも知っておくべき事だと思えます。つまり、エマニュエル・マクロンが現在行なっている新しい事についてです。皆さんの多くがご存知だと思いますが、私は「反キリスト」を名指ししません。私たちが知るべき事だと思いませんし、誰がそうだろうか？と考えるべきではないと思っています。ただ私は、反キリストの先駆けはいるだろうと思っていますし、マクロンはその一人だと思っています。それが昨日暴露されたのは、マクロンが新しい考えをまとめているとのことで、基本的には軍隊の結成で、その軍隊は10ヶ国から成ります。10ヶ国です。なぜ？報道によれば、防衛に消極的なドイツにしびれを切らして、フランスの大統領エマニュエル・マクロンは来月、10ヶ国の有志連合軍を結成する。緊急時に共に行動するヨーロッパ軍を整え、欧州連合を脱退するイギリスが、軍事的に提携するようにデザインされる。この間、私がダニエル書を調べた時は、将来10ヶ国の同盟国から反キリストが出て来る、とありました（書記注：ダニエル書7章参照）。聖書には、10本の角とあります。そして多くの方が、欧州連合について分析していました。加盟国の数は、10ヶ国よりはるかに多いですから。しかし、欧州連合の外で、興味のある10ヶ国だけが共に軍事的、政治的同盟を組めば、それでローマ帝国が復活します。そして、ここで私たちが目にしている事です。また彼が語っているこれらの10ヶ国を見てみると、非常に興味深いです。ともかく私が言いたいのは、皆さん、ヨーロッパでも興味深い展開がたくさん起こっているということです。

興味深い展開がイランでもあり、アメリカでも核協議に関して興味深い展開が起こっていて、もちろん、イスラエルでも起こっています。

イスラエルでは昨日、グアテマラの大使館がエルサレムに移転しました。エルサレムに移転した大使館第一号です。次は5月14日にアメリカ大使館、他にもホンデュラス、ルーマニア、チェコ共和国の大使館も移転します。さらに多くの国々が、どんどん考え方を变えて、トランプ大統領の指導力に追従し始めています。アフリカのムスリム国家であるタンザニアが、イスラエルと新しく外交関係を築くことを決定しました。彼らはエルサレムには来ませんが、まずはテルアビブに大使館を開設します。それもまた、大きな前進です。イスラエルは孤立していません。イスラエルは、未だかつてなかったほどに受け入れられていて、非常に多くの異なる国々から求められています。皆さん、私たちの知る預言が起こり、成就されるためには、いつも言いますが、イスラエルは経済的に大国で、軍事的にも強く、そして国際的に大きく受け入れられていなければなりません。そして、これは現在、我々が見ている状況です。

10年前は、私にはそう言えませんでした。

5年前ですら、自信をもって言えなかったでしょう。

しかし今日は、言えます。

10年前は、ロシア、トルコ、イランの同盟を今のように語れませんでした。

私たちはあの地域で、見事な展開を見ているのです。

皆さんは、中東で起こっている事の全てが、瞬時に戦争に発展するとは、一瞬たりとも考えないでください。私たちが知っている事、聖書に、そうなると思われることにフォーカスしましょう。そしてその時まで、

パニックになって怖くなるのではなく、その時まで、私たちは活動しなければなりません。

- ① 一つに、私たち自身の人生を修正して、
- ② 二つ目に準備をしましょう。ここを出て行く準備、それから城壁の見張り人として、私たちの役目を果たす準備です。ほかの人に、これから起こることについて警告を与えましょう。

皆さんが次のことを理解しておくのは、非常に重要です。

現在、中東では物凄い事が起こっています。

私は物凄くワクワクしていますよ。私は震源地、世界の活動の中心にいるのです。

昨日、私の仲の良い友達、ジョン・ライリーと会っていました。彼はミシシッピーでラジオミニストリーをしていて、今はイスラエル旅行中なのですが、彼にこう言いました。

「ジョン、周りを見てごらんよ。家族連れが外に出て遊んでいるだろう？ここでは全てが、物凄く平穏なんだよ。」

私は世界中の人たちにそれを伝えるのに、とても苦労するのです。イスラエルにいないで、こちらで起こっているニュースを聞けば、ここに住んでいるイスラエル人よりもずっとパニックになって恐れますから。私たちはここに住んでいるのです。イスラエルツアーを計画している人に、私はいつも言うのですが、イスラエルに来る時の最大の危険は、ここにいる間に食べ過ぎるか、イスラエル行きの飛行機に乗るために、あなたの国の空港に行くまでの道中ですよ。ここにおいて、危険な事は何もありません。ですから、皆さん全員をお招きします。敵は、皆さんにここに来てほしくないのです。敵は、皆さんにこの国を訪れて欲しくない。敵は、皆さんが祝福されて人生が変わるのが嫌なのです。敵は毎日、物凄く恐れおののいているのですから。私たちは理解しなければなりません。イスラエルを守られる方は、まどろむことも、眠ることもない。こんな約束は、他のどの国にもありません。もちろん、私たち信者はどこへ行っても、神が私たちを守ってくださいますし、神が私たちのお世話をしてくださいます。しかし、その国を生かしておくために、神がまどろむことも眠ることもないと聖書が語る国は、他にどこにもありません。物凄く安全な場所にいたいなら、ここですよ。

もう一つ、皆さんにお伝えしたいのは、エゼキエル戦争が起こったとき、それは今から一か月後、数年後、いつでも起こり得ます。その時が来ると、言っておきますが、私は、イスラエルに来ないようにと、皆さんに警告する必要はないと思います。その時、私たちがここにいない確率はかなり高いですから。私たちは、他の問題に対処する必要はあるかも知れませんが、天でどこに住むか、どの豪邸があなたのものか？

最後の締めくくりにお伝えしたいのは、今週二つの大きな事が起こりました。そして私たちは、その両方に神の御手を見ました。イスラエルに向けられていた、200発以上のミサイルをその場で爆破したこと、それから、イスラエル諜報機関がイランの中心、テヘランの中心で行なった英雄的かつ見事な活動によって、イラン政権の真の顔を暴き、暴露しました。言っておきますが、世を誤魔化すことは出来ても、神を誤魔化すことは出来ません。それから、イスラエルに対して策略を練ることは出来ても、イスラエルには神がいることを忘れてはいけません。神は、私たちをここで滅ぼすために、イスラエルに帰還させたのではありません。皆さん、どうか覚えていてください。詩篇 83 篇と言えば、あの詩篇は 1948 年、1967 年に物理的に成就されている、と私は思っています。それから、詩篇 83 篇の霊、神を憎む者、神の敵である者たちは、神がかくまわれる者たちを憎みます。聖書は、イスラエルは神がかくまわれるものだ、と告げています。そして彼らは、神に敵対することが出来なければ、イスラエルの民に敵対して来る、と告げています。ですから、全ての事が超霊的で、今

起こっているのは戦いなのです。だから、信者はパニックになったり、恐れや不安の罠にかかってはいけません。私たちは、立ち上がらなければなりません。そして皆さん、理解しておかなければなりません。私たちの仕事は、今まで以上に私たちの主との道を修正し、この終わりの時に、神が使われる、最もパワフルな道具となるように、

① 神があなたの町に置いておられる、多くの人に手を伸ばす

② パウロとシラスがテサロニケで訴えられたように、この世を騒がせるのです。

それを神は、私たちに望んでおられるのです。残されたわずかな時間でひざまずき、とりなし、祈りましょう。そして、御父の仕事に励みましょう。次に何が起こるかは、聖書が明確に告げています。過去の事についても、聖書は明確に告げています。そしてイスラエルは滅ぼされない、ということについて、聖書は超明確に告げています。エゼキエルが告げている戦争で、ロシア率いる同盟国に攻められる時でさえ、神がご介入され、これらの国々を打ち負かす、と聖書は告げています。

皆さんの励みになれば良いのですが。今、物凄い事、ワクワクすることが起こっている、と理解しておいてください。まだイランからも、ロシアからも、トルコからも、最後の言葉は聞いていません。当然、ヨーロッパからも、アメリカからも。しかし確かなのは、世の出来事はバラバラに崩壊して行っているのではなく、然るべき場所に収まって行っているのです。ヨーロッパは10ヶ国の連合国結成へと向かっていて、そこから反キリストが興ります。アメリカはアメリカ第一を目指しています。そしていずれ、アメリカが言っている通り、全世界の警察ではなくなります。ほんの二日前に、トランプ大統領がそう言っているのを聞きました。ところで、これは彼の政策ですよ。私は、完全に理解しています。そして、イスラエルの周りの敵たちが、一分たりとも眠らずに、私たちに対して策略を練っています。イランは、自分たちだけでは引き金を引くことは出来ません。ロシアは、イランを生かしておくことの必要性を理解しています。トルコは、イスラエルの存在に我慢がなりません。彼らは互いに好意はないでしょうが、それでも我々に敵対して攻めこむために、彼らは提携し合います。それは起こります。それは現実です。それはすぐそこまで迫っています。これは、新聞だけの話ではなく、現場で起こっている事です。そしてこれは、聖書の中に書かれています。2800年前の聖書が、最初にそれを見たのなら、その戦争の結果も、聖書を信頼すべきです。何よりも、戦争の結果以上に、私たちはこれら全ての事で聖書を信頼すべきです。

ということで、今日、皆さんにお伝えしたことで、皆さんが希望を持たれることを願い、祈ります。あなたがあなたの役目を理解することを願い、祈ります。終わりの時のクリスチャンとしての役割、自分の使命を理解し、自分のミッションを理解して、引き続きエルサレムの平和のために祈り、イスラエルの人々のために祈り、そして敵が、イスラエルの神によって敗北するようにお祈りください。

では、メッセージの最後は、お祈りで締めくくりましょう。皆さんの上に、アロンの祝福を宣言したいと思います。そしてこのメッセージを終わります。

これをもう一度お聞きになりたい方は、Behold Israel/ビホールドイスラエルのユーチューブチャンネルをご覧ください。

ウェブサイト Behold Israel.org より、ニュースレターを登録してください。

インスタグラムもフォローしてください。素晴らしい写真を投稿していますから。「Behold Israel」です。それからももちろん、フェイスブックとツイッターで私たちをフォローしてください。「Behold Israel」です。

では、お祈りしましょう。

ヴェイシェメレハー	アドナーイ	イエヴァーレフハー
וְיִשְׁמְרֶךָ	יְהוָה	יְבָרְכֶךָ
..(主が)あなたを守られますように	主が	あなたを祝福し

ヴィーフネツカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	ヤーエール
וְיִתְנֶךָ	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יָאֵר
..(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし

シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	イッサー
שְׁלוֹם	לְךָ	וְיִשֶׁם	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
- 25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
- 26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

唯一、平和の君から来る平安、平和の主であられ、平和を与える事の出来る方、今でさえ、全ての理解を超える平安です。

イエスの御名によって。アーメン。

アーメン！

ありがとうございます。

イスラエルより、シャローム！ God bless you!

We love you! ツアーでお会いできることを楽しみにしています。

たぶん、来年…

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

ホメイニ師：Wikipedia「ルーホッラー・ホメイニー」

中東の地図：Yahoo 地図

イランの核計画の全貌をリークしたネタニヤフ首相：Wha did Netanyahu reveal about Iran’s nuclear program? Nothing new, experts say CNN 2018.5.3